

兵庫県・
淡路麺業

生パスタ専用工場が完成

最大で日産3万食に パスタレストランも併設

淡路麺業(兵庫県淡路市・出雲文人社長)では、かねてより建設中だった生パスタ専用の新工場と、併設するパスタフレスカレストラン「DANIMEN」がこのほど完成、昨年十二月十七日午後三時四十分から、取引先関係者約一〇〇名を招き、新工場の工場見学、午後五時から同市内にあるウエスティンホテル淡路で竣工披露パーティーを開催した。

新工場は、淡路市役所近くの海沿いの場所に建設され、敷地面積は約一〇〇〇坪、工場面積約三〇〇坪、隣接するレストランが約五〇坪という構成になっている。

押出機1ライン を新規導入

生産能力は、時間五〇キロの製造が可能な押出式ライン(不二精機製)1ライン、同一〇〇キロ(同)2ライン、通常のロール式製麺ライン(尾久葉鉄工所製)1ラインに、新たに時間五〇キロを製造できる押出式ライン(ソディック

製)1ラインを新規導入したことで、これまで日産一万食から最大で三万食の製造が可能になったという。また、押出式ラインには、麺線同士のかつきき防止するため、麺線冷却装置(エフエスアート製)を設置している。この他、事務所奥にはテストキッチン常設し、いつでもユーザーにプレゼンができるようになっている。

ことや、工場に作られた小窓からは、工場内の生産の様子が見られるなど、様々な箇所が工夫が凝らされている。工場見学は、到着順に随時行われており、同社社員案内のもと、数班にわけて行われた後、バスで式典会場に移動した。

約100名が出席して 竣工披露パーティーを開催

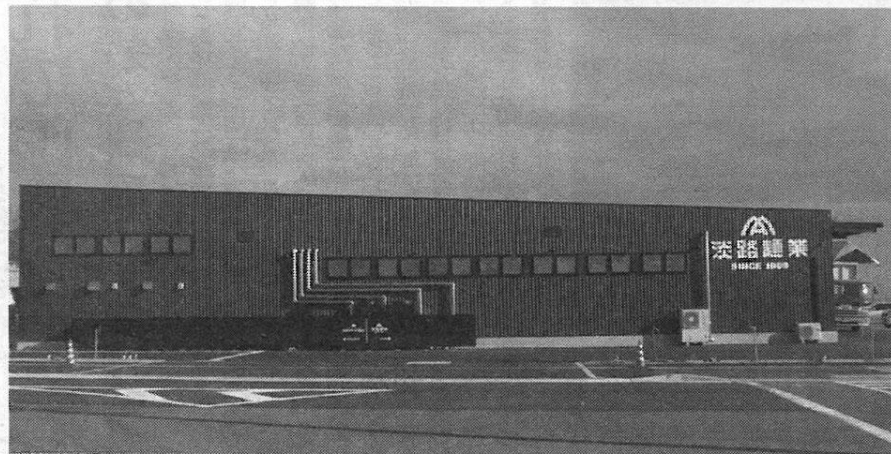
開会に先立ち同社社長の出雲文氏が「本日は多忙の中、遠い所からお越し頂き感謝申し上げます。この日を迎えたのも、本日はご列席下さった皆様のおかげと思っています。弊社は一九〇九年に、氷室幸次郎が創業、六八年に淡路島内の五つの製麺業者が集まり、現在の淡路麺業を設立した。当時は如うどんをメインに商売をしていたが、二〇〇

七年から始めんの業態から生パスタへと大きな変換を計り、近年では北海道から沖縄まで二〇〇軒のレストランとお付き合いできるようになった。そこで、これまで以上に安心・安全な商品を安定的に供給することを目指し、今回の新工場の竣工となった。今後も引き続き皆様に喜んで頂けるように頑張つて、会社を繁栄させていきたい」とあいさつを述べた。

門康彦淡路市長、原哲明兵庫県議会議長の祝辞に続き、設計・施工業者に感謝状が贈られた後、国領順二氏(昭和産業)執行役員、広域営業部担当製粉部長の乾杯で祝宴となった。

最後に同社取締役相談役の出雲勉氏が「今後従業員一同力を合せて会社を盛り上げていくので、いままです以上にご支援ご協力をお願いしたい」とあいさつを述べた。

なお、併設のパスタフレスカレストラン「DANIMEN」では、工場生産した生パスタが食べられる他、同社が製造する生パスタ約四〇種を常時展示、購入もできるようになっている。



淡路市役所近くの海沿いの場所に建設



併設するパスタレストラン「DANIMEN」で販売する生パスタを説明する出雲文社長



広々とした生産工場



テストキッチンを常設